

ラジオ気象通報

私は「ラジオ派ながら族」だと思います。イヤホンで聞きながら庭の作業もできることがその理由かもしれません。

先日の夕方耳に入ってきた「気象通報」の放送に、「え！まだ続いているの？」と手を止めてしまいました。今はスマートホンがあれば「天気予報」を見たり聞いたりできる時代、気象通報の1日の放送回数は変わったものの、気象庁が発表する正午現在の気象情報を午後4時にNHKラジオ第2で放送する、これは変わっていませんでした。

「石垣島では南南東の風、風力2、晴れ1002ヘクトパスカル（昔はミリバールと呼んでいましたね）。

「那覇では・・・」と続く観測地点の順番もそのまゝ。

昭和30年、40年代には私が所属していた山岳部で山へ行く時、電波の入りやすい場所をうろうろ探しながらよく活用させていただきました。専用のラジオ天気図用白地図に気象情報を書き込んで自前の天気図を作成し、自分たちなりに翌日の気象を予測していた頃が思い出されて、この日の気象通報は最後まで聞き入ってしまいました。

（上記はNHKラジオFM番組屋の憩い「視聴者からのお便り」で採用され、2022年3月16日に放送されたものです）

